

Mizuho Daily Market Report

2024/5/10

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	155.81	155.48	▲0.05	+1.84
EUR	1.0734	1.0782	+0.0034	+0.0057
AUD	0.6575	0.6620	+0.0040	+0.0055
SGD	1.3566	1.3525	▲0.0030	▲0.0024
CNY	7.2256	7.2199	▲0.0047	▲0.0212
MYR	4.7391	4.7410	▲0.0005	▲0.0135
THB	36.91	36.94	▲0.02	▲0.02
IDR	16061	16045	+0	▲140
PHP	57.38	57.39	+0.00	▲0.16
INR	83.50	83.51	▲0.01	+0.04
VND	25436	25443	+10	+61

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.453%	▲4.1 bp	▲12.8 bp
日本(10年)	0.918%	+3.6 bp	+1.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.495%	+3.3 bp	▲4.6 bp
オーストラリア(5年)	4.039%	+5.1 bp	▲8.7 bp
シンガポール(5年)	3.280%	+4.3 bp	▲11.1 bp
中国(5年)	2.146%	+1.9 bp	▲3.3 bp
マレーシア(5年)	3.731%	+0.1 bp	▲5.0 bp
タイ(5年)	2.539%	+0.2 bp	▲0.4 bp
インドネシア(5年)	6.947%	+0.0 bp	▲13.1 bp
フィリピン(5年)	6.524%	+2.7 bp	▲24.4 bp
インド(5年)	7.137%	▲0.3 bp	▲3.3 bp
ベトナム(5年)	2.150%	+3.0 bp	▲3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,387.76	+0.8%	+3.0%
N225(日本)	38,073.98	▲0.3%	▲0.4%
STOXX50(ユーロ圏)	5,054.41	+0.3%	+3.3%
ASX(オーストラリア)	4,558.37	+0.3%	+2.5%
FTSTI(シンガポール)	3,265.95	+0.0%	▲0.9%
SSEC(中国)	3,154.32	+0.8%	+1.6%
SENSEX(インド)	72,404.17	▲1.4%	▲3.0%
JKSE(インドネシア)	7,088.80	+0.0%	▲0.4%
KLSE(マレーシア)	1,601.22	▲0.2%	+1.3%
PSE(フィリピン)	6,542.46	▲1.8%	▲1.6%
SETI(タイ)	1,369.29	▲0.3%	+0.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,248.64	▲0.1%	+2.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	289.99	+0.3%	+1.8%
金	2,346.33	+1.6%	+1.8%
原油(WTI)	79.26	+0.3%	+0.4%
銅	9,780.61	+0.1%	+1.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	152.60	—	156.00
EUR/USD	1.0540	—	1.0850
AUD/USD	0.6490	—	0.6690
USD/SGD	1.3450	—	1.3680
USD/CNY	7.1950	—	7.2380
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	36.00	—	37.50
USD/IDR	15880	—	16200
USD/PHP	55.90	—	58.00
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は155円台前半でオープン。日銀が公表した4月会合の「主な意見」にて、「円安を背景に基調的な物価上昇の上振れが続けば正常化ペースが速まる可能性は十分にある」などの内容がタカ派的と受け止められ下落する場面があったものの、仲値にかけて反発。参院での植田総裁の発言も円安の動きを牽制する内容であったが、相場への影響は限定的。155円台半ばを中心に底堅く推移した。アジア通貨はドル高を背景に大半が下落する展開に。昨日マレーシア中銀はインフレリスクへの警戒から政策金利据え置きを決定した。

海外市場のドル円は155円台半ばでスタート。NY時間朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想を上回った事が嫌気され、米労働市場が減速している思惑からドル売り優勢となり、155円台前半まで下落。その後は売り一巡となり、155円台後半まで戻す。午後はデリー・サンフランシスコ連銀総裁が「今後数ヶ月のインフレ低下の進展は極めて不透明だ」との認識を示すも、特段のドル買い材料とはならず。その後は米金利が低下幅を拡大する動きが重しとなり、終盤には155円台半ばまで反落し、同水準でクローズ。

【金利】

金利市場は、中長期ではばらばらに金利小幅低下。朝方発表の新規失業保険申請件数が予想以上の増加となり、発表後債券買いが強まり、金利は4-5bps低下したがその後もなく売り戻しが入った。午後発表された30年もの国債の入札結果はまずまずだったことで買いが入り、金利は引けにかけて一段と低下した。

【予想】

本日のドル円は引き続き底堅い展開を予想。昨日は神田財務官より「為替介入についていつでもやる準備がある」との発言や、植田日銀総裁による「急速で一方向的な円安は日本経済にマイナスで望ましくない」との発言が見られたが市場の反応は限定的。本日は海外時間にてFRB当局発言が予定されているもののハト派に急旋回することは想定されず、足元のドル高円安トレンドが継続するものと考え。

【本日の予定】

(日本) 3月 国際収支・経常収支
(日本) 3月 家計支出
(日本) 4月 景気ウォッチャー調査
(日本) 4月 銀行貸出動向
(日本) 国債入札(30Y)
(アジア) 1Q 中国 経常収支(速)
(アジア) 3月 インド 鉱工業生産
(アジア) 3月 マレーシア 鉱工業生産 / 製造業基本売上高
(アジア) 4月 NZ REINZ住宅売上高
(アジア) 4月 NZ 製造業PMI
(アジア) 休場 インドネシア
(アジア) 韓国の尹錫悦大統領就任から2年
(欧州) 1Q 英 GDP(速)
(欧州) 2月 伊 工業売上
(欧州) 3月 キリシヤ 鉱工業生産
(欧州) 3月 伊 鉱工業生産
(欧州) 3月 英 GDP / 鉱工業生産 / 製造業生産
(欧州) 3月 英 貿易収支 / 建設業生産高 / サービス業指数
(欧州) 伊 国債入札(3Y、7Y)
(米国) 4月 月次財政収支
(米国) 5月 ミシガン大学消費者マインド(速)
(米国) ケールスピー・シカゴ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。